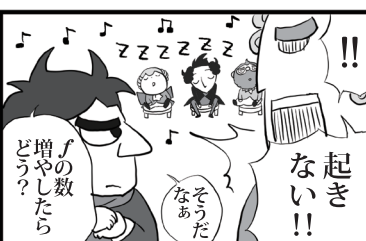
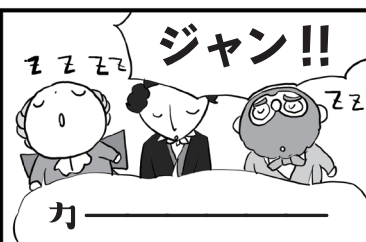


びっくり!

漫画: 東園子



※ハイドン作曲の交響曲第94番は「驚愕」(びんぼう)シンフォニーなどの愛称で親しまれています。

～アドラー流で考える 生徒・保護者とのコミュニケーション～  
先月号に引き続き、事例を通して日々のコミュニケーションを振り返ってみましょう。

◆こんな時、どうしましょう?  
我が子と他のお子さんを比べてしまい、「うちの子は他のお子さん比べて全然上達しないんです」と言う保護者。どのように対応しよう…。

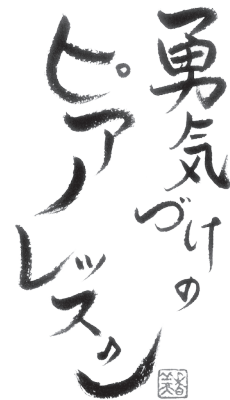
読者のみなさんのお教室にも、このような保護者がいるのではないのでしょうか? どのような対応をしたらよいか、頭の中で考えていることを書き出してみましょう。書き出してみること、思考整理ができますし、改善点もきっと見えてきます。ぜひトライしてみてください。

●我が子と他のお子さんを比べてしまう保護者に対して、どのような声かけをしていますか? またはどのような声かけをしたら良いと思いますか?  
\*書き出してみましょう。

◇アドラー流コミュニケーション～松井先生の場合  
\*一例として参考にさせていただきください。

「先生、うちの子の良いところが見つかりません。」と、あるお母さんがおっしゃいました。「学校の成績も良くないし、運動もできません。ピアノだって、長い間習っているのに他のお子さんに比べて全然上達しないんです。」と…。我が子を良く言うなんて、自慢しているようで気恥ずかしいとでも思っているのでしょうか。良い面を素直に口に出せない方が意外に多いことを、私はとても残念に感じています。アドラーは「多くの人が他人との比較の中で、優劣をつけて生きている」と指摘しています。私たちおとなは子どもを伸ばす手段として、他人と比較し、叱咤激励をすることが、時としてあると思います。しかし、それによって子どもが良くなることはありません。むしろ、傷つき自信を失うのです。こんな時、私は、他の誰かと比較して、子どもを褒めたりおだてたりするのではなく、ほんのわずかでも、その子自身の良い点を見つけ認めるようにしています(このことを、私の師匠である岩井俊憲先生は「ダメ出し」の対義語として「ヨイ出し」と提唱しています)。できないところではなく、できているところに注目する「ヨイ出し」は、子どもの自信や意欲に繋がります。我が子と他のお子さんを比べてしまう保護者には、このことをお伝えするようにしています。

松井美香 まつい・みか  
「勇気づけの音楽家」東京音楽大学ピアノ専攻卒業。学研『愛のピアノレッスン』にて手記を執筆。  
<HP>松井美香ピアノ教室 <http://matsuimika-piano.net>  
<ブログ>ピアノの先生のためのモチベーションアップ術 <http://ameblo.jp/makeachangewithlove>  
\*無料メルマガ好評配信中(ご登録はブログにてお知らせしています)  
<座談会特設ページ><http://www.gakken.jp/ongaku/smile>



第43回

チャレンジ!

【#とb】  
①と②の音を、2分音符で書きましょう。  
・①は#を使って書きましょう。  
・②はbを使って書きましょう。

難易度  
『おうちでもできる! おんがくドリル④』程度

Gakken

株式会社学研プラス 音楽・キャラクター事業室  
〒141-8415 東京都品川区西五反田2-11-8 TEL: 03-6431-1220  
学研 おんがく.net <http://www.gakken.jp/ongaku/>  
電子書籍ストア Beyond Publishing <http://bpub.jp/>  
twitter @gakken\_music Facebook gakken.music

Gakken

株式会社学研プラス 音楽・キャラクター事業室  
〒141-8415 東京都品川区西五反田2-11-8 TEL: 03-6431-1220

学研 おんがく.net <http://www.gakken.jp/ongaku/>  
電子書籍ストア Beyond Publishing <http://bpub.jp/>

twitter @gakken\_music  
Facebook gakken.music

学研11月号  
おんがく通信

TAKE FREE

9月29日、五反田文化センター音楽ホールで「久元祐子レクチャー・コンサート」が開催されました。ご来場いただきましたみなさま、誠にありがとうございました。今月号の中間では久元先生と時代楽器の演奏風景や会場の雰囲気など撮影した写真も交えて、当日の様子をレポート形式でお届けします!(お)

2017年10月25日

5つのキーワードでみるピアニスト Vol.1

イグナツィ・ヤン・パデレフスキ (1860 - 1941 / ポーランド)  
Ignacy Jan PADEREWSKI



I 名ピアニスト

1887年ウィーンでデビュー。翌年にはパリのサラ・エラールでシリーズコンサートを開催。その名声はヨーロッパにとどまらず、アメリカ、カナダにも拡大。その名演奏の数々は、美しい容貌と相まって聴衆を虜にし、カリスマ的存在となった。

II ショパンの楽譜の校訂

ショパン演奏のスタンダード版といえる『パデレフスキ版』(ポーランド音楽出版社)の校訂者として有名だが、大半の作業は共同校訂者ルドヴィク・プロナルスキ、ユゼフ・トゥルチヌスキによるものである(パデレフスキは校訂が始まった1937年から4年後に逝去。1949年刊行開始・1961年完結)

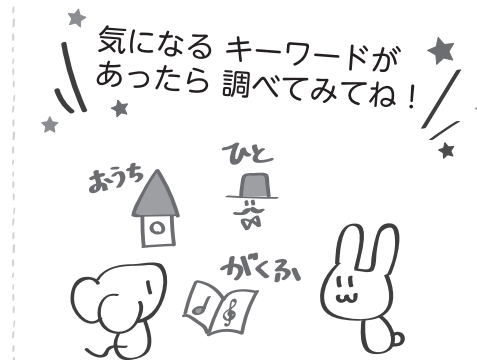
III 首相になったピアニスト

1910年頃スランプに陥っていたパデレフスキは、演奏活動を中止し政治活動に専念することを決心。同年「グレンヴァルトの戦い」500周年の記念碑除幕式で演説を行い群衆を熱狂させた。1915年からは、ポーランド独立のために奔走。独立を勝ち取った1919年、ポーランドの初代首相に任命されヴェルサイユ条約締結の任も果たした(在任期間は10か月)。1939年に国政に復帰。スイスで政治的亡命者たちの活動の拠点を支援した。

IV パデレフスキのメヌエット

ピアノ協奏曲やオペラ、交響曲などの作品を残しているが、何よりも作曲家パデレフスキを有名にしているのが「パデレフスキのメヌエット」で親しまれているピアノの小品で、自身も数回にわたってこの曲を録音している。ピアノ・ロールによる自身の演奏がネット上で聴けるので探してみよう。

パデレフスキ メヌエット ピアノ・ロール 検索



V 日本パデレフスキ協会

<http://paderewski.jp/>  
パデレフスキを讃え、1923年にポーランド・パデレフスキ協会が発足。3年に1度「パデレフスキ国際ピアノコンクール」が開催されている。日本では、故・中村紘子氏が中心となって2016年に発足。現在は中村氏の遺志を継ぎ、ピアニスト横山幸雄氏が会長となり、活動を継続している。協会のサイトには、パデレフスキの貴重な写真の数々や、演奏動画がアップされているのでチェックしてみよう!

Gakkenの楽譜 こぼれ話

前号からのつづきで→  
「新版おんがくドリル」シリーズの第6巻・第7巻のタイトルが漢字の“音楽”になっている理由…それは学習のレベルに合わせたから! パッと見た感じは簡単そうなのに、意外と…!! (冷や汗)の内容です。ぜひ取り組んでみて実感してください♪(か)



編集部の一問一答!

学研・音楽事業チームのスタッフに音楽の好きなところ、自分だけのこだわりなどを聞いてみよう! というコーナーです。

今月の回答者: (あ)

Q: 最近ハマっている作曲家は?  
A: 植松伸夫さん

Q: 好きな調性は?  
A: ホ長調、変ロ長調

Q: 好きな音楽用語は?  
A: andante



全国の楽器店で配布中の冊子（無料）『ピアノの先生のためのレッスン Q&A』よりご紹介いたします。

**Q** 小学高学年の生徒さんへのレッスンで気を付けるべきポイントを教えてください。

**A** **あかね先生の回答**  
「導入期では指導者主導のレッスンが中心ですが、ある程度上達してきた時、その指導方法を切り替えることが大切になってきます。両手でピアノが弾けるようになって演奏の楽しさが分かってくる頃、これまでのように受け身のままですと、『弾かされている』という思いが強くなり、自分で考え、自分で表現する楽しさが分からないまま、ピアノをやめてしまうケースが出てきます。私の場合、導入期は私が生徒の楽譜に注意事項や印を書いています、小4くらいからは生徒自身が、書き込み、そのポイントについて考え、演奏するようにさせています。自主性を育てることも、ピアノを長続きさせるコツかもしれません。」

「ピアノを弾かされている」「親にピアノ教室に通わされている」といった受け身の状態では、生徒さん自身、これからもピアノを続けたいとは思えないですね。自分で考え、ピアノの楽しさを感じてもらえるような心配りが必要なのですね♪(ゆ)

### \*今月のセミナースケジュール\*

11/9 (木)：[大阪府/豊中]  
ヤマハミュージックリテイリング千里店 セレクションルーム  
『ピアノ・テクニックのレッスン法～初歩からすてきな音をならしましょう～』  
<テクニック・セミナー/導入編>

11/24 (金)：[東京都/立川] ららぽーとホール  
『「リズム」を確実に身につけるためのレッスン』  
<2回連続リズム・セミナー/2回目：発展編>

11/15 (水)：[千葉県/山武] 丸越楽器 横芝光センター  
『子どもが飽きない「リズム」のレッスン』<リズム・セミナー/導入編>

## レッスンに役立つ!

### 調性のお話

黒田篤志

第6回 ~まとめ(後半)~

最終回

最終回は生徒さんへの「問いかけ」についてのお話で、「調性のお話」をまとめたいと思います。

第1回でお話ししたように、調性感を身につけると「表現力がアップ」し、「楽典のおさらい」もできます。鍵を握るのは上手な「問いかけ」。前回お話しした「6つのポイント」に着目してください。また、生徒さん自身の言葉で説明してもらうことも重要です。日常のレッスンでは、時間の制約もあるので、即座に適切な「問いかけ」ができるように、オリジナル「問いかけ集」を作りましょう。



### ■6つのポイントを掘り下げよう

新しい曲に取り組むときは、6つのポイントにそった問いかけをしてみてください。繰り返していけば、生徒さんの着眼点を養うことにつながると思います。「3段目あたりに注目する」を例にすると、「この曲でいちばん盛り上がるころはどこ?」「#とかが増えているところはどこ?」というような手順で、3段目に注目させていきます。そして、その部分の流れを「和音」で弾いてあげて、ほかの段との違いを和音で把握してもらいます。目と耳から特殊な部分であることを理解してもらったら、「どんな感じがする?」と問いかけてみましょう。「忙しい感じ」とか「迫ってくる感じ」など、クライマックスを感じ取っていると思われる言葉が出てくれば、嬉しいですね。さらに、和音それぞれの違いについて細かく問いかけてもいいと思います。

掘り下げポイントを絞ることが大切です。

**黒田篤志** くらだ・あつし  
1973年生まれ。早稲田大学修士課程修了。日本アマチュアピアノコンクール7位入賞。出版社にて楽譜と書籍の編集を担当。現在小山市で、大人のピアノ教室「Lento Lent」を主宰するかわら、フリーの編集者、ピアニストとして活動中。http://ameblo.jp/pianote0519/

### ■生徒さんの表現を待とう

問いかけに対し、満足できる返答が来なくても、あせらないようにしてください。調性感は、言葉で表現するのがむずかしいもの。しかし、生徒さんたちは少しずつ感覚を蓄積しているはず。6つのポイントにそった問いかけを続けて、生徒さんが自分の感覚を言葉で表現してくれるのを待ちましょう。ある生徒さんが、ドッペルドミナントの和音を、「ペアっとした感じ」と表現してくれたことがありました。その前に何度かドッペルドミナントの部分について問いかけを行ったときは、あまり特徴的な返答はありませんでしたが、それでも本人の言葉を待ちました。こうなるとしめたもので、「このあとの部分はどんな感じがする?」「おじぎするような感じがしない?」など、ドミナントとのつながりに重心をおいた問いかけや、ドッペルドミナントという楽典的な説明などができます。もちろん、「ペアっと和音」というようにネーミングしても楽しいでしょう。

### ■オリジナル「問いかけ集」を作ろう

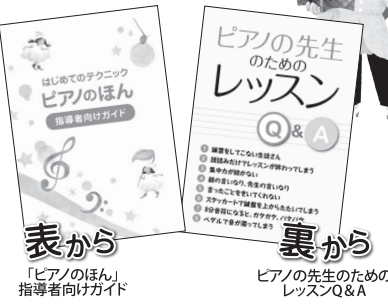
日々のレッスンでは、指の練習や曲をこなすことに時間を取られがちで、調性のことまでカバーするゆとりがないのが実情ではないでしょうか。しかし「問いかけ集」があれば、「今日はこの問いかけで攻めてみよう」という具体的な目標を先生ご自身もつことができ、調性感を身につけてもらうことにレッスンがシフトしていくと思います。ぜひ、6つのポイントを参考に、調性感を身につけるための、オリジナル「問いかけ集」を作ってみてください。とりえず、思いつくものを箇条書きにしていくのもひとつの方法です。生徒さんたちが「やっぱり嬰ハ短調はしびれるよね～」なんて言ってくれる日が来ることを祈りつつ、連載を終えたいと思います。ご愛読、ありがとうございました。

#### ~6つのポイント~

- ・取り組んでいる曲の調性を知る
- ・ピアノ以外の楽器をイメージする
- ・全体のつくりを把握する
- ・終止形を明確にする
- ・3段目あたりに注目する(短い曲の場合)
- ・細かい和音を感じる



## 全国の楽器店で配布中!!



### 特別小冊子!!

■B6判/4C/32頁/無料

## 開催レポート

### 久元祐子レクチャー・コンサート 無事に終了! 「モーツァルトが愛したピアノフォルテの響き～名器から生まれた名曲たちを聴く～」

この誌面で何回かお知らせしておりました、久元祐子先生のレクチャー・コンサート「モーツァルトが愛したピアノフォルテの響き～名器から生まれた名曲たちを聴く～」が去る9月29日に無事開催されました! 前日の叩きつけるような雨からうってかわって、当日は楽器移動日和の秋のすがすがしい晴天! 久元先生はご自身もお認めになる「晴れ女」との事で、効果は絶大です。会場の五反田文化センター・音楽ホールは250席ほどの会場。ピアノフォルテの音がまろやかにひろがる素敵な空間です。はるばる五反田までやってきたアンドレアス・シュタイン・モデルとアントン・ヴァルター・モデルのピアノフォルテたち、なんとワンボックスの荷室に2台並んで登場です。モーツァルトが自身の楽器を持ち歩いて演奏会を行った…というのが実感されます。第一印象は、とにかく華奢! 弦やハンマーの材質、弦の張り方など、モダン・ピアノとは全然違う楽器たちです。詳しくは『モーツァルトとヴァルター・ピアノ』(久元祐子著・学研プラス刊)をお読みいただければと思います。コンサートはヴァルター・モデルでの「幻想曲」の演奏から始まり、先生のわかりやすく楽しいお話をはさみつつ、2年前に新発見された自筆譜に基づく「トルコ行進曲」付きソナタ KV331 をシュタイン・モデルで。ここで休憩をはさみ後半はKV333とKV545のソナタをヴァルター・モデルの音色で…と、2種類の楽器の響きの違いと先生のお話とで、モーツァルトへの理解が存分に深められたひとときでした。時代楽器には過酷な寒暖差のなか、それでも自在にピアノフォルテを操り熱い演奏とトークを繰り広げてくださった久元祐子先生に、心からの拍手とブラーヴァを捧げつつ…。またどこかでこのようなコンサートが開けたら、次回はぜひ! 体感してみてください! (か)



左:シュタイン・モデル 右:ヴァルター・モデル



ヴァルター 1795年モデル ペトロゼリ制作



シュタイン 1788年モデル ズッカーマン制作

## Music Quiz

**Q** 次のうち、名称が人物の名前に由来した楽器はどれでしょうか?

- ① オーボエ
- ② ファゴット
- ③ カスタネット
- ④ スーザフォン

答え: 4. スーザフォン スーザフォン「sousaphone」は、生涯に130曲ものマーチを残し、「マーチ王」と呼ばれたアメリカの作曲家スーザに由来します。作曲家でありながら、バンドの指揮者としても活躍した彼は、チューバをマーチング・バンドで歩きながら演奏できるよう、改良しました。それが身体に管を巻きつけたような形と、演奏者の頭上にある大きなベルが特徴のスーザフォンです。 オーボエ ちなみに、オーボエはフランス語で「haut-bois」。「高い木」という意味です。ファゴット「fagotto」はイタリア語で「薪を束ねたもの」という意味で、大きさの違う2本の管がくっついている形に由来しているようです。カスタネットは、栗の実を二つに割ったような形に見えることから、スペイン語で「栗の実」を意味する「castaña」に由来します。

**新刊情報**  
楽譜

発表会ピアノ曲集  
にじいろのおくりもの2 初級程度  
選・校訂: 丸子あかね

**第2巻は 11月中旬発売予定!**  
■菊倍判/112頁/本体価格1,600円(税別)  
※掲載情報は変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。  
発表会の選曲は、ピアノの先生にとって、本当に大変な作業です。みなさんにたくさんの素敵な曲をご紹介していくことで、先生と「生徒さんへの1曲」との、かけ橋になるような曲集を作りたい。その想いから、心をこめて編集しました。(「はじめに」より一部抜粋)

ソロ…45曲  
連弾…6曲  
計51曲収録!

**第1巻 好評発売中!**  
発表会ピアノ曲集  
にじいろのおくりもの1  
導入から初級程度  
■菊倍判/80頁/本体価格1,600円(税別)

ソロ…53曲  
連弾…4曲  
計57曲収録!